

リニアテクノロジー、「LTC2862/2863/2864/2865」を販売開始

データレート 20Mbps、±60V フォルト保護、3V~5.5V 動作の全二重/半二重 RS485 トランシーバ

2011年12月21日 リニアテクノロジー株式会社は、高価な外付け保護デバイスを使用することなく市場故障をなくすことができる、高耐圧 RS485/RS422 トランシーバ・ファミリの新製品「[LTC2862/LTC2863/LTC2864/LTC2865](http://www.linear-tech.co.jp/product/LTC2862)」の販売を開始しました。LTC2862/LTC2863/LTC2864/LTC2865 ファミリには、コマーシャル温度グレード、インダストリアル(I)温度グレード、車載温度グレードがあり、業界標準のピン配置を採用した DFN および SO パッケージで供給されます。20Mbps の半二重バージョンの 1,000 個時の参考単価はいずれも 235 円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。こ LTC2862/LTC2863/LTC2864/LTC2865 ファミリは、リニアテクノロジーの 250kbps、±60V フォルト保護トランシーバ LT1785 (半二重)および LT1791(全二重)とピン互換のアップグレード・デバイスです。製品の詳細に関する情報は、リニアテクノロジーの Web サイトをご参照ください (<http://www.linear-tech.co.jp/product/LTC2862>)。

実際の RS485 システムでは、据え付け時の配線ミス、グランド電圧障害、あるいは落雷によるサージ電圧によって、標準的なトランシーバの絶対最大定格を超える過電圧状態が生じることがあります。LTC2862/LTC2863/LTC2864/LTC2865 はデータ伝送ラインの ±60V の過電圧フォルトに対する保護機能を搭載しており、動作時および電源シャットダウン時にバス・ピンを保護します。回路の動作状態(送信中、受信、スタンバイ、電源オフ)に関わらず、LTC2862/LTC2863/LTC2864/LTC2865 は±60V までどのような電圧にも損傷なしに耐えることができるので、あらゆる標準的な RS485 ネットワークの堅牢性を高めます。この低消費電力のファミリは、20Mbps の高速データレートと低 EMI でスルーレートが制限された 250kbps のデータレートをサポートしており、半二重バージョンと全二重バージョンがあります。

LTC2862/LTC2863/LTC2864/LTC2865 ファミリは、産業用制御、計測ネットワーク、車載電子機器を含むさまざまな RS485/RS422 アプリケーション向けに有効な保護機能と信頼性を提供します。±25V の拡張された入力同相範囲と完全なフェイルセーフ動作により、電気的ノイズの多い環境やグランド・ループ電圧の存在下でデータ通信の信頼性を高めます。この広い同相範囲によって、通常はデータエラーやデバイスの損傷が生じる厳しい環境での送受信が可能です。強化された ESD 保護機能により、トランシーバのピンは、±15kV(人体モデルおよび IEC-1000-4-2 空中放電) までラッチアップや損傷なしに耐えることができ、他のピンもすべて、±8kV(人体モデル)まで保護されています。レシーバのしきい値が完全に対称的なので、低い信号レベルでのデューティサイクルの対称性と昇圧レシーバのノイズ耐性を良好に保つことができます。

データレート 20Mbps、±60V フォルト保護、3V~5.5V 動作の全二重/半二重 RS485 トランシーバ

LTC2862/LTC2863/LTC2864/LTC2865 の主な特長:

- ±60V までの過電圧ライン・フォルトに対する保護
- 電源電圧: 3V~5.5V
- データレート: 20Mbps または低 EMI の 250kbps
- ESD: インタフェース・ピンで±15kV、他のすべてのピンで±8kV
- 拡張された同相範囲: ±25V
- フェイルセーフ・レシーバ動作を保証
- 最大 256 のノードをサポート
- 独立した 1.65V~5.5V のロジック電源ピン(LTC2865)
- 温度範囲: -40°C~125°C
- 業界標準のピン配置

フォトキャプション: 同相範囲±25V の、±60V フォルト保護 RS485 トランシーバ

Copyright: 2011 Linear Technology Corporation

###

リニアテクノロジーについて

S&P 500 の一員であるリニアテクノロジーは、過去 30 年にわたり広範囲に渡る高性能アナログ IC の設計・製造及びマーケティング活動を行い、世界中の多くの企業に提供しています。リニアテクノロジーの半導体は、私たちのアナログ世界と「通信」、「ネットワーキング」、「産業」、「自動車」、「コンピュータ」、「医療」、「精密機器」、「民生」さらには「軍需航空宇宙」システムで幅広く使用されている、デジタル・エレクトロニクスとの架け橋の役目を担っています。リニアテクノロジーは、パワーマネジメント、データ変換、信号調整、RF、インタフェース、 μ Module サブシステムを設計・製造しています。

LT, LTC, LTM, μ Module 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

メディアの方お問い合わせ先:

ミアキス・アソシエイツ 河西 (かさい)

TEL: 0422-47-5319、Email: linear-pr@miacis.com

記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 紀尾井町パークビル 8F

リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291 (代表)

<http://www.linear-tech.co.jp/>

本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

jhamburger@linear.com 408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

ddickinson@linear.com 408-432-1900 ext 2233

以上